

2007 年度夏期 プログラムプランニング 参加者作成プログラム

1. 平野源太 会員

(1) タイトル

子供達に対するごみ教育

(2) 背景

ゴミ焼却所がないため、家庭で出る生ごみ・プラスチック・ビニール・紙などは家の周りや畑、田んぼの近くに捨てに行っている現状にある。

(3) 目的

幼稚園、小学校、中学校、高校の学校教育を通してゴミに関する知識普及を図る。(例えばゴミが与える動物への影響、燃えるゴミと燃えないゴミの分別の仕方、リサイクル。)

(4) 実施方法

幼稚園では、紙芝居を使ってゴミを燃やしてはいけない、捨ててはいけないことを伝える。

小学校・中学校・高校では、以下の4点に取り組む。

- ① 映像や写真を使ってゴミが及ぼす動物や自然への影響を伝える。
- ② 実際のゴミを使って燃えるゴミ、燃えないゴミの分別を行う。
- ③ ②の教育後、学校に燃えるゴミと燃えないゴミのゴミ箱を設置する。
- ④ 簡単なリサイクルを実演(ペットボトルから風車、使い捨ての油から石鹼)を行う。

(5) 実施スケジュール

未定

(6) 期待できる効果

今すぐにゴミ焼却所ができる可能性は低いと思う。でも将来5年後、10年後ゴミ焼却所ができた時に、今の幼稚園・小学生・中学生・高校生がゴミに対する知識を持っていれば、彼らが中心になってゴミの分別をスムーズに行うことが可能になると思われる。

以上

2. 中村愛子 会員

(1) タイトル

タイ国農村域における衛生環境の改善プログラム

(2) 背景

タイの特に農村域では、家屋の構造上、蚊や蠅等の昆虫が住居に簡単に侵入することができる。これらの昆虫は病気を媒介することもあるため、衛生環境改善の重要性を啓蒙すると共に、蚊や蠅等の昆虫が住居に侵入し難くする対策が必要である。

(3) 目的

衛生環境改善の重要性を啓蒙すると共に、住居における蚊や蠅等の昆虫の住居への侵入を防ぐための網戸の導入を推進する。

(4) 実施方法

ワークショップ等で衛生環境改善の重要性を啓蒙すると共に、住居における蚊や蠅等の昆虫の住居への侵入を防ぐための網戸の導入を支援する。

(5) 実施スケジュール

未定

(6) 予算

ワークショップ用資材、網戸用資材等

(7) 期待できる効果

タイ農村域における衛生環境の向上を図ることができる。

(8) その他

地域住民の意向について慎重に調査・検討する必要がある。

以上

3. 米田美奈 会員

(1) タイトル

アジア諸国農村域における中古自転車の支援プログラム

(2) 背景

タイ農村域における自転車の多くが安全部品の故障及び欠損を生じており、安全上問題がある。一方、日本では放置自転車等がまだ使用できる状態にありながら大量に廃棄処分されている現状がある。

(3) 目的

日本で諸事情により不要もしくは廃棄予定になった自転車をアジア諸国農村域に支援し、資源リサイクルを図る。

(4) 実施方法

船便等で不要自転車を輸送し、アジア諸国農村域に支援する。

(5) 実施スケジュール

未定

(6) 予算

船便運賃等

(7) 期待できる効果

日本における放置自転車等のリサイクル利用が図れるとともに、アジア諸国農村域の交通安全の向上が期待できる。

(8) その他

①日本における放置自転車等のリサイクル転用方法に関して詳細を調べる必要がある。

②タイにおいては中古自転車の販売は一般的ではない。

以上